

水無川流域の沢

コクトツ沢 1987年8月29日
I

蔵川にそった林道をぎりぎりまで車を乗り入れる。昨年の大水で林道はかなり荒れており、コクトツ沢出合まで乗り入れることはできなかった。

8:10遡行開始。出合は濁沢となっており、土砂がかなり押し出している。山は相当に荒れているようだ。5分ほど歩くと水の流れが出てくる。きれいな水である。そして砂防ダム。石積みのダムで、この先さらに3つ出てきて、「よくもこんな山奥にまで」と思うくらいの所にまで作られていた。

2つ目の砂防ダムの手前のあたりは、左岸が大きく崩壊している。「ダムなんかを作るより木を切らない方がよっぽど治山の役に立つ」と話しながら進む。

2つ目の砂防ダムを越えると、ちょっとしたゴルジュ状となる。「これは滝が出てくるかもしれない」と話していたら、砂防ダムがあっただけで平凡となってしまった。そしてその先も、小さなナメと小滝2つが出てきただけで、平凡なままで源流となってしまった。遡行終了 10:10。

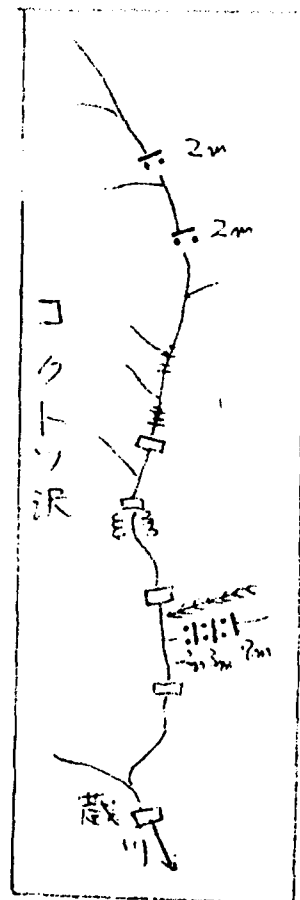
(記)

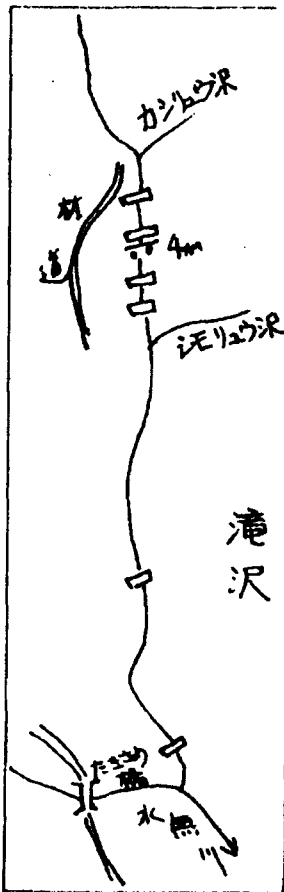
【タイム】 出合(8:10)→遡行終了(10:10)

滝沢 1987年8月29日
I

たきざわ橋より水無川左岸ぞいにヤブをこいで滝沢に出る。出合よりすぐ堰堤が見え、また水量も少なく、いやな予感がする。

出合より堰堤を2つ越え、シモリョウ沢出合まで、約1時間程河原歩きである。さらに堰堤を2つ越えると、4mの滝が見えるが、滝の背後に堰堤があり、興ざめす





る。でもこの沢唯一の滝，シャワーで登る。

6つ目の堰堤を越えると，沢身はせばまり，ヤブでおおわれてくる。9:25車が入るほどの林道に出る。この林道は沢ぞいに続いており，林道を上を歩く。30分程歩くと，道もヤブでおおわれ，やむなくまた沢に入る。

ヤブの中をさらに40分程進むと，ほとんど水量もなくなり，遡行終了とする。 (記・)

[タイム] 滝沢出合(7:50)→遡行終了(10:40)

シモノ沢

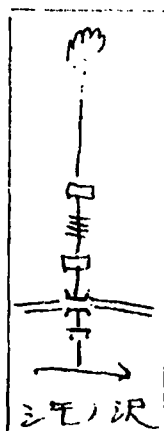
1987年8月30日

L

車で出合へ。6:50遡行開始。砂防ダムを2つ越えると沢に水がなくなり，遡行終了とする。たった15分の短い登りだった。

(記・)

[タイム] 出合(6:50)→遡行終了(7:05)



カブレ沢左俣

1987年8月29日

L

10:30下降開始。クマザサのひどいやぶをかきわけながら進む。やがて細い沢筋の下りとなる。10m滝を慎重にクライミングダウンしたら，あとは落石が一杯つまった急峻な沢筋の下りとなった。右岸の崩壊地からの土砂が沢を埋め，せつ

